

サポーターズ・ニュース

平成30年度 上半期活動報告

サポーターズ・ニュース9月号でお願いした「活動報告」が届きましたので紹介します。

前橋市児童文化センター 環境冒険隊(前橋市)

- 5/12 環境冒険隊入隊式 爬虫類の体と生活（ヘビの補食の様子の観察）と体のづくり
- 5/26 森のパワーの再発見 国立赤城青少年交流の家
- 6/ 2 赤城覚満淵と覚満川の生物観察 覚満淵に棲むヤマヒゲナガケンミジンコ、ヒドラ等の生物
- 6/16 ぐんま昆虫の森 温室内の蝶の観察、講師が作成したワークシートをもとにした課題解決学習
- 7/ 7 バイオテクノロジーを学ぶ 群馬県立勢多農林高校バイオクラブ
サクラソウとマルバノモウセンゴケを守る取り組みを知る。寒天培地の作成とサクラソウ、
モウセンゴケの植え付け
- 7/14 赤城白川の水生生物で水質を判定しよう 赤城山箕輪付近の白川
- 7/28 児童文化センターの田んぼにいる水中の微生物を観察しよう
- 8/25 群馬県エコクラブ交流会に参加しよう 国立青少年交流の家
- 9/ 8 県立自然史博物館で環境と生物の関係を学ぼう
- 9/29 メダカが棲む環境の水を科学的に調べよう 児童文化センター

今年度から新たに実施した学習内容の抜粋

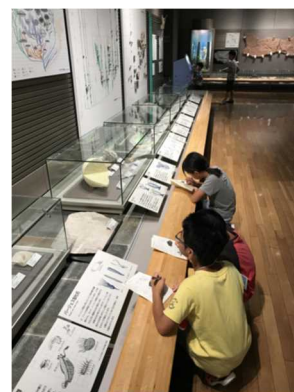
9月8日(土)に県立自然史博物館に環境の変化と生物の関係を学びに行ってきました。

自然史博物館には、児童生徒の発達段階にあったワークシートがあるため、それを活用させて頂き、自分たちのペースで、課題解決学習を行いました。展示物を見て回るだけでなく、ポイントを絞って見学をすることができました。尾瀬を含めた群馬の植物や動物など、環境関係全体についての展示もあったので、環境冒険隊としての学習に役立ちました。

9月29日(土)は、前橋メダカが生息している児童文化センター内のビオトープや田んぼの水の性質について、詳しく調べる活動を行いました。

ビオトープの上流部と下流部、田んぼの3ポイントについて、水温、COD、色、におい、透視度を3人一組になって調べ、結果について考察したり発表したりしました。

ビオトープの上流部は汲み上げたばかりの井戸水なので、水温は一年中ほぼ一定の17℃、CODは2ppm、透視度も100cm以上と、とてもきれいな水でした。下流部に行くに従って、濁りもゴミもないのですが、CODは4ppm、透視度78cmと低くなっていくことが分かり



ました。その原因については、よく分かりません。田んぼは、水温も 27℃と高く、また、CODは 5ppm、透視度は 62cmと低くなります。しかし、ビオトープよりも多くのメダカが生息しているので、前橋メダカにあった環境は、冷たく透明な汲み上げたばかりの井戸水よりも、ある程度温度が高く、溜まっている水の方がよいのではなかとおもわれました。今後、継続的に調べていきたいと思います。

今後、ガステックから講師の先生をお招きし、空気についても調べていきたいと思います。

しらさわエコキッズクラブ(沼田市)

しらさわエコキッズクラブは、メンバー25名、サポーター6名で、環境学習会や環境調査、自然観察やリサイクルなど様々な環境活動に取り組んでいます。前期の活動の様子を報告します。

環境学習会○朝日新聞環境教育プロジェクト・地球教室を使い全体勉強会を行いました。

(夏休みの宿題もこのタイミングでこなしちゃっています!)

環境調査 ○例年と同じく、町内河川・白沢川の水質調査を3回行いました。

自然観察 ○尾瀬に行つて細やかな自然を観察してきました。山小屋泊りの2日間です。

〈写真〉

清掃活動 ○今年もポイ捨て禁止の看板をリユース作成し、60枚を土木事務所の許可を得て町内各所に設置しました。〈写真〉

文化活動 ○地元文学倶楽部「しらさわ望郷クラブ」のふるさと夕涼み会に参加し、クラブ発表をしました。

ユネスコの「平和の鐘」に参加しました。

その他 ○ぬまた環境フェスティバルにブース参画しました。〈写真〉

○赤い羽根共同募金のお手伝いをしました。

〈振り返って〉前半の活動も例年と変わらずに動けたかと思います。今期は小学生が少なく、なかなか集まりがまとまりませんでした。このあと11/3の文化祭で、しらエコの活動をどのくらいアピールできるか色々と考えいます。後半も新聞作成を中心に頑張りたいと意気込んでいます。



尾瀬自然観察



ポイ捨て禁止の看板作成



ポイ捨て禁止の看板設置



ぬまた環境フェスティバルにブース参画

はじまるキッズ(前橋市)

はじまるキッズはメンバー10人、サポーター5人のクラブです。前期の活動を報告します。

〈清掃活動〉

元総社地区の牛池川で川遊びとゴミ拾いをしました。小さな魚やアメンボウがいました。川は少し臭かったです。川の中や周辺(30mくらい)のゴミ拾いでは、農業用のマルチや、お菓子の袋、ペットボトル、空き缶が45ℓ袋一つ分落ちていました。



〈農業体験〉

吉井町のNPOさんが主催している田植えに参加させてもらいました。子ども達は、3回目なので慣れてきて、上手になってきました。また大きい子は真剣に取り組めるようになってきて成長をかんじました。周辺の生物を観察したり、真竹を採ったり、ジャガイモ堀もさせていただきました。たくさん土に触れた一日でした。



〈その他体験〉

木工教室

夏休みに、竹林において、吉野NPOさん主催の木工教室に参加しました。普段使わない、工具を使い、鳥の巣箱や竹の水鉄砲、竹とんぼを作りました。地域のおじいちゃんたちにお世話していただき、楽しい交流もできました。昼は、みんなで流しそうめんや自然の中でおもいっきり遊びました。



公共交通体験

夏休みに、エコクラブ主催で、バスと電車に乗るツアーをしました。参加者が少なかったのが残念ですが、バス、電車と時間とお金の払方やマナーなど学びました。公共交通を身近に楽しみました。電車利用の少ない保護者は、エコドライブについて考えました。

〈半年を振り返って〉

会員皆さん休日はおけいこや病院通い、家族旅行で忙しくてそれぞれの参加者は少数ですが、マイペースに楽しみながら活動したいです。

生品小 土曜スクール(太田市)

クラブ名：生品小土曜スクール

メンバー数：11名

サポーター：6名

記入者：西村 豊

活動内容

①環境学習会：1回

水やごみについての学習会

②環境調査：2回

1回目：身近な水環境の全国一斉調査に参加

学校付近の湧水地で採水しパックテストでCODを測定、またコメのとぎ汁と比較して家庭からの排水が川を汚していることを確認〈写真〉

2回目：川の生物等の観察

学校付近の川で水生生物と珪藻を採取し顕微鏡で観察〈写真〉

③自然観察：1回

学校で樹木や植物の調査

学校にも多くの種類の木があることを認識し木の太さを記録して来年以降も継続して確認する予定

半年を振り返って

新しいメンバーも加わり学校の授業では教わらないことを楽しみながら学習しています。



水のお話



珪藻の採取



珪藻の観察

元総社エコクラブ わんぱく探検隊（前橋市）

今年度も元総社エコクラブから『「わんぱく探検隊」だより』をいただいています。元総社エコクラブでは、中学校の北側のエコ農園で、野菜作りをがんばってつづけています。

前期活動報告をありがとうございました。今回投稿いただいたクラブの皆さん、今回投稿が間に合わなかったクラブの皆さん、2018年度の活動事例集の「活動報告」及び「おすすめ情報」の原稿募集への投稿をぜひよろしくお願いいたします。

「全国エコ活コンクール」壁新聞・絵日記大募集！

応募については、各クラブ宛てに送付されていると思います。ふるってご参加をお願いします。なお市町村事務局へのメ切が1月4日となっていますが、群馬県の場合1月12日の交流会の場で壁新聞の展示・発表が予定されています。そのため、1月4日までに県の事務局へ届けていただくか、交流会当日に会場へ届けていただければ、交流会終了後、すぐに全国事務局に送付することになっています。ご承知おきください。

詳細は、<http://www.j-ecoclub.jp/topics/info/201810151000.html>

壁新聞のことで質問があれば、坂口まで気軽にご相談ください。027-226-2827（サポーター）

今年度も1月12日(土)前橋市児童文化センターを会場に「第23回群馬県子どもエコクラブ交流会」を実施します。

たくさんの方々のご来場を、お待ちしております。

群馬県子どもエコクラブ事務局発行
〒371-8570

群馬県前橋市大手町1-1-1

群馬県環境森林部環境政策課内

Tel:027-226-2827

Fax:027-243-7702

E-mail: ecosusumu@pref.gunma.lg.jp